学校番号	2003

令和８年度　進路探究科

教科	進路探究	科目	子ども学	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書							
副教材等	プリント教材他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では、子どもに関する知識や関わる技術を定着させることを主眼に置くのではなく、「子どもがみている世界」や「子どもが感じている感覚」に目を向け、体験やフィールドワークなどを通して、「実感しながら学ぶ」ことを大切にします。そして、子どもについて学び、感じたことを踏まえて、実際に子どもといかにかかわるか、また子どもにどのような遊びや活動を計画し、展開していくかということを実習を通して取り組んでいきます。
幼児の子どもたちの世界を一緒に探求・探究していきましょう。

2　学習の到達目標

・子どもたちの見方・考え方・感じ方を知る。
・知ったことを踏まえて、子ども達へのかかわりや手立てについて検討をし、手立ての計画を考えることができる。
・子どもに関わる仕事と向き合い、社会の中で子どもを育むことの重要性に気づくことができる（キャリア教育の観点）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・子どもの見方・考え方・感じ方を理解することができる。 ・子どもと関わる際の言葉がけ等手立ての実際を知り、大切にしたい要点を身に着ける。	・子どもの姿や発達の様子から、子どもたちにとって必要な経験や活動を考えることができる。 ・答えのない議論を通して、既存の知識や既知の事実を結び付けて、新たなアイデアを想起することができる。	・グループでの議論などを通して、他者の意見や授業内での経験を踏まえて、粘り強く考えようとする。 ・子どもとかかわる計画を生成する際に、見通しを持ち、子どもの姿、実施者のねらいねがいなどを織り交ぜて、計画的に考えようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		1A 前期の振り返り 1B 後期オリエンテーション 2A 子どもたちへの手立て(室内環境) 2B 子ども立ちへの手立て(戸外環境) 3A 実習事前オリテ(かかわりと部分実習) 3B 実習事前オリテ(かかわりと部分実習) 4A 実習かかわり部分における説明 4B 実習部分実習における説明 5A 部分実習計画相談 5B 部分実習計画相談 6A 模擬保育 6B 模擬保育と改善案検討 7A 模擬保育を体験 7B かかわりを体験 8A 実習振り返り① 8B 実習振り返り② 改善案検討 9A 幼稚園の役割③(これからの保育) 9B 幼稚園の役割④(これからの保育) 10A 幼稚園の役割①(子育て支援) 10B 幼稚園の役割②(子育て支援) 11A 年間の気づき・変容の振り返り まとめ作業 11B 年間の気づき・変容の振り返り まとめ作業 12A 年間の気づき・変容の振り返り まとめ作業 12B 年間の気づき・変容の振り返り まとめ作業 13A 発表と講評 13B 発表と講評	a:子どもに向き合う中で大切となる心持ち、知識、技能、かかわりの際のマインドなどを理解することができる。 b: 授業内で学んだ知識・技能・事例と自身の仮説、アイデアなどを包含し考え、子どもに向き合うアイデアや手立てを考えることができている。 c:様々な観点で想定をすることができ、見通し豊かに計画をしようとすることができる。	ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度